

令和8年2月4日

内子町環境マネジメント推進本部長
内子町長 小野植 正久 様

内子町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 小野 翠美
副主任監査員 多比良 康彦
副主任監査員 森岡 瞳

環境監査報告書

令和7年度うちエコ監査の結果について、以下のとおり報告します。

1. 監査日程 推進本部・事務局：令和8年1月21日（水）
実行部門等：令和8年1月26日（月）
全体協議：令和8年1月27日（火）
2. 監査対象 環境マネジメント推進本部および事務局
実行部門
3. 監査方法 監査員による聞き取り及び現場確認
4. 監査内容 環境基本計画（後期計画）にかかる目標の達成見込み
エコオフィスの取り組み状況
町民等との連携および職員の環境意識の醸成 など

(1) 総合所見

令和7年度のうちエコ監査は、推進本部、実行部門12部署、事務局、計14の部署等を対象に実施しました。いずれの部署等においても、事前に十分な準備を行われており、当日は質問等に丁寧にお答えいただいたことで、取り組みの状況を具体的に把握することができました。ご協力いただきました皆さまに深く感謝申し上げます。

監査の評価方法は、取り組みの内容や目標の達成状況について、☆(特に優れた取り組み)、◎(良好な取り組み)、○(取り組んでいる)、△(改善要望事項)、×(勧告事項)の5段階で判断しました。その結果、☆4個、◎17個、△・×0個となりました。全ての監査部署においてマイナス評価が無いのは、平成28年度以来のことです。

業務上可能な範囲での節電や節水の徹底、エコドライブ、紙の使用量削減等の基本的な取り組みの定着がうかがえるとともに、独自の工夫や新たな取り組みなども複数見られ、うちエコ活動の広がりを感じられたことから、全体的に高い評価となりました。

特に「☆」評価がついた部署等では、AIを活用したわかりやすい教材の作成、独自の企画による地域や企業等と連携した学習・体験活動の実施、所管施設の光熱水費等をオリジナルのグラフにまとめて変化を把握するといった工夫など、これまでに見られなかった取り組みがありました。

一方で、過去2年にわたり指摘してきた独自目標のマンネリ化については、一部の部署等で見直しが行われていたものの、過年度と全く同じ目標を掲げられているところも少なくありませんでした。継続して取り組む重要性は理解しますが、取り組みの進捗に応じて目標値を上げる、内容自体を見直すなど、より前向きな目標設定を望みます。

「ゼロカーボンシティうちこ」の実現に向けては、従来の取り組みに加えて、さらにレベルの高い取り組みが求められます。

例えば、部署単独での取り組みだけでなく、他の部署等と連携して新たな調達の仕組みをつくる、町施設全体で効率的な改修計画を立てるなど、一歩進んだ展開も必要ではないかと考えます。また、デジタルを活用し、取り組みの進捗を随時共有できるような見える化システムの導入も望まれるところです。

そして、これらの取り組みを行政だけが行うのではなく、町民や企業など町全体にいかを広げていくかが最も重要となります。本年度から企業を対象とした新たな事業などもスタートされていますが、今後一層のうちエコの推進を期待します。

(2) 評価結果

① 推進本部

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	町長・副町長・教育長／方針の設定・周知		1					
2	町長／環境基本計画の推進（協議・指示）			1				
3	町長／EMSの運用・改善			1				
4	副町長／エコオフィスの推進			1				
5	副町長／エコオフィスの推進		1					
6	教育長／環境教育の推進（環境学習）			1				
7	教育長／環境教育の推進（地域の環境活動）			1				
合 計			2	5				
達 成 率（○以上の項目／全7問）		100%						

② 実行部門

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	独自目標の内容と達成見込、その改善		4	8				
2	エコオフィスの推進（光熱水量全般）	1	2	9				
3	エコオフィスの推進（施設修繕・改修等）			12				
4	エコオフィスの推進（グリーン購入）			12				
5	職場での情報共有	1	2	9				
6	町民や事業者等との連携	2	2	8				
7	全般（環境面での取り組みや工夫）		2	10				
8	脱炭素化に向けた取り組み						12	
9	ゴミ削減の取り組み						12	
10	地域環境への関心						12	
合 計		4	12	68			36	
達 成 率（○以上の項目／全10問×12部署） ※評価対象外・該当なし項目（/・—）を除く		100%						

③ 事務局

NO	設問内容	評価						
		☆	◎	○	△	×	/	—
1	基本方針の周知・理解			1				
2	環境に関する定期的研修		1					

3	首長との協議			1				
4	目標達成状況の公開			1				
5	指摘事項の改善			1				
6	全般（取り組みの工夫・改善）		1					
7	システム全般（うちエコの運用）		1					
8	システム全般（監査の工夫・改善）			1				
9	システム全般（監査の評価）			1				
10	システム全般（監査の報告）			1				
合 計			3	7				
達 成 率（〇以上の項目／全 10 問）		100%						

（3）個別所見

① 特に優れた取り組み（☆）

部署名	設問	評価理由
天神小学校	6	<p>1年生から6年生まで全ての学年で、年間を通して環境に関する授業や体験学習が数多く計画されており、地域から多様な講師を招いて充実した活動が行われている。</p> <p>また、それらの活動に校長先生が積極的に参加し、その日のうちに活動の様子を学校 HP で紹介するなど、情報発信にも力を入れており、保護者からも好評を得ている。</p>
小田中学校	5	<p>環境主任が、環境副読本の内容を AI で動画化し、職員・生徒に周知している。</p> <p>副読本の内容を分かりやすく伝えるために、新しい取り組みがなされており、意識の高さが伺えた。</p>
内子 学校給食センター	6	<p>保護者には給食日より、生徒には給食の時間の放送で給食の内容等周知している。また、小学生の給食センター見学とあわせて、地産地消の大切さを伝えるなど内容の濃い、食育を行っている。</p> <p>新しい取り組みとして、給食センター自らが企画し、食をテーマにした、農業体験、野菜の皮むき、農家とのリモート学習などさまざまな活動を行い、食品ロスや地産地消、農業への理解を深めている。</p>
八日市・護国 町並保存センター	8	<p>過去5年以上にわたり水道光熱費等を月・年で比較できるようにグラフでの管理を行っていた。</p> <p>グラフの管理から漏水などの問題も発見しており普通の業務にも生かせるような形をとっている。</p>

② 良好な取り組み (◎)

部署名	設問	評価理由
推進本部	1	<p>環境基本計画の新たな柱となった脱炭素化に関して、地域にとって真に意味のある取り組みを適正に進めていくという強い意欲を確認できた。</p> <p>行政内部のエコオフィスについては、コスト削減等の目先の効果だけでなく、一人一人の意識や行動を、家庭や地域のリーダーとして職場の外にも展開し、地域全体に波及させていきたいという期待を示され、内輪にとどまらない良い方針だと感じた。</p> <p>環境教育に関しても、食育の推進や、地域の特色・シンボルを生かした取り組みへの支援を強調され、テーマを持って取り組みを進めていく意思が感じられた。</p> <p>今後力を入れていきたい方針が明確であることに加え、意欲的であることを評価した。</p>
	5	<p>エコオフィスに関しては、長年継続してきた一方で、取り組みが定着したことによる緊張感の低下や目標の形骸化の課題（部署毎の目標で、例年達成できている内容や前年踏襲のものも多く、挑戦性に欠けるなど）を指摘され、その解決のために、例えば取組状況や効果の可視化や、課の一部や業務単位での目標設定など、目標の見直しを提案されていた。</p> <p>また、取り組みのねらいとしてコスト削減や環境に関する率先的な行動は、地域への波及や人材を呼び込む効果への期待も示していた。</p> <p>現状の問題点を的確に指摘し、現状に満足することなくさらに前進していこうとする姿勢を評価した。</p>
総務課	2	<p>ほとんどの項目の使用量が大幅に削減されている。</p> <p>ノートパソコン導入によるペーパーレス化の徹底により、紙の使用量を1t以上削減できており、成果が著しい。</p> <p>公用車の走行距離は伸びているが、比較年度の令和5年がまだコロナ禍にあったことを考えると、1934キロの増加は理解できる。他方、公用車の燃料使用量は2067リットル下がっており、EV車導入の効果が表れていると感じた。</p> <p>ノー残業デーの指定やエアコンが夜10時にいったん一斉に切れるシステムなど働き方改革の導入が、環境の負荷軽減</p>

		に役立っている事も評価できる。
保健センター	1	<p>独自目標を見直し、今年度は目標をすべて新しくした。そして、すべての目標を高い水準で達成している。</p> <p>掃除には、えひめ AI-1 を使用、また外出の際には EV 車を積極的に使用し、環境に配慮した取り組みを実践している。</p>
	6	<p>町民の方に配布するチラシに、環境に関する記事を掲載することで、意識啓発をしている。</p> <p>ふれあい会や保育園、食改など、さまざまな地域団体と一緒に野菜などを育て、食べたり、さつまいものつるをリースにしたりするなど、食育や食品ロスの学びにつなげている。</p>
内子 総合窓口センター	5	職員研修などが開催され、参加した職員は研修報告書等を提出して、業務等で行くことができなかつた方にも情報共有を行うようにしている。
立川小学校	1	アルミ缶回収について、ホームページや自治会だより等で、学校内だけでなく地域への呼びかけも行っている。
	6	地域の方に協力をしてもらい、校内で原木しいたけの育成を行っていた。菌の植え付け作業から児童が行い、育ったしいたけはそれぞれ持ち帰ってもらっている。
	7	3・4年生の総合の授業で環境（地球温暖化等）に関する調べ学習をしており、生徒一人一人が別々のテーマで取り組んでいる。その成果を学習発表会で発表する予定でいる。
天神小学校	1	<p>全学年で年間3回以上の環境に関する校外学習を目標とし、すべての学年がそれ以上の回数で達成している。さらに、その活動内容を即時にHPに掲載し、情報発信を行っている。</p> <p>アルミ缶回収をいつでも誰でも行っており、年間約3万円の収益を得ている。その収益で花の苗やプランターを購入し、世話を環境委員の児童がすることで環境活動に取り組んでいる。また、アルミ缶回収の収益で購入した旨を、学校広報誌で保護者に周知している。</p>
	5	<p>独自目標をすべて職員に周知している。</p> <p>電気のつけっぱなし等、課題が見つかった際には、個別、もしくは一斉に電子掲示板や朝礼にて注意喚起を行っている。</p>
五十崎中学校	2	エアコンの使用規定を校内で新たに定め、電気使用量の削減に努めている。

小田中学校	1	<p>森林組合等の協力を得て、椎茸の植菌から料理まで実施しており、地域と共同しつつ、無駄がないようにエコクッキングに取り組んでいる。</p> <p>月1回ボランティア清掃活動を実施しており、校内のみでなく地域の清掃に取り組んでいる。</p>
八日市・護国町並保存センター	7	<p>時間と費用は掛かるが、修理事業では再利用できるものは再利用するように指導している。(柱や梁等の部材で木材の腐食部以外を残す、土壁の再利用など)</p>
事務局	2	<p>11月に行われた職員向けの研修会では座学だけでなく、まちづくりカードゲームを使って、出席者全員がわかりやすく、楽しみながら学習できるよう工夫されていた。また、12月の一般・企業向けの研修会でもこのカードゲームを使用した。参加者の評判(アンケート結果)も良いことから次年度以降はこのカードゲーム指導者の資格を環境政策室職員自らが習得し(今年度は指導者を呼んで開催)、全町で展開していくとのこと。</p> <p>楽しみながら学習できる研修、学校現場や地域での展開に今後大いに期待する。</p>
	6	<p>コロナ以降、企業向けの取り組みがなかなか進まずにいたが、今年度から地域企業の脱炭素を支援する取り組みが動き始めた。企業向け研修会(脱炭素経営スクール全3回)を手始めとし、来年度以降の具体的な活動に向けてアクションプラン策定会議(全4回)を取りまとめ中。行政・企業が同じ方向性で取り組む内子の環境への取り組みを評価する。</p> <p>来年度の太陽光ロードマップ作成に向けて動き始めると聞き、こちらも期待が大きい。</p>
	7	<p>うちエコのシステムについて、できるだけ担当者の負担が軽減できるように報告や管理面を改善している。また、うちエコ数値目標に関する取組結果については、グラフを作成し、色付けなどを工夫してとても分かりやすいものとなっている。紙印刷の書類も大幅に削減され、いたるところで改善の工夫が感じられた。</p> <p>今年度から取り組んでいる企業向けの取り組みを次年度からはうちエコに取り込んでいこうとしている点も評価したい。</p>

③ 部署別全体評価

部署名	全体評価
推進本部	<p>脱炭素、とりわけ再エネや電気自動車をめぐる、世界的な不安感や警戒感も含めた逆風に抗い、難しい面はあるけれども内子町では脱炭素を目指していくという前向きな姿勢が感じられた。</p> <p>成果が出るのはこれからだが、今年度は、環境基本計画のアクションプランの策定や脱炭素経営スクールの開催を通じて、これまで手薄だった企業との取組が動き出している。</p> <p>また、エコオフィスや環境学習に関しては、現状維持にとどまらず、何を大切に、地域にどう展開していくかを意識して進められており、推進本部としての頼もしさを感じた。</p> <p>状況に応じて、できるところから着実に取組を実施されている点と、地域への波及を見据えている点が良かった。</p>
総務課	<p>総務課という仕事柄、庁舎全体のエコオフィスを管理しているわけだが、漏水のあった水道量以外は削減できていることは本当に素晴らしいと感じた。</p> <p>職員全員のエコに対する取り組みの成果と、長年エコオフィスに取り組んできた様々な事柄の成果がやっと形になって表れてきたと感じられる。2050年のゼロカーボンに向けて課題はまだあるが、希望の光が見えてきたと感じている。</p> <p>どの質問にも、できることは今までしっかり取り組んで来ており、成果をあげているように感じられた。</p> <p>ただ、目標自体のマンネリ化がみられるのが残念に思われる。これはどこの部署にもいえることだが、達成できた目標に対しては更に目標数値を上げたり、新たな目標に変えたりする努力や工夫が欲しいところである。</p>
会計課	<p>業務内容的に出来ることは限られている中で、可能なことを出来る限り行っていた。</p> <p>環境に関する掲示物等を見える場所に貼っていた。</p>
保健センター	<p>基本的なことは、しっかり定着していると感じた。そのうえで、参加者から野菜を提供していただくなど、地域団体と連携して活動を実施している。</p> <p>さらに、内子保健センターの照明をLED化したことにより、電気代を年間5.4万円削減できた。</p> <p>また、個人の意識も高く、フードマイレージや地産地消の取り組みも進められている。</p>
内子総合窓口センター	<p>電気使用量の増加があった場合に、分庁全体への電気使用量等削減の呼びかけを行うなど、建物全体での省エネに努めていた。</p> <p>ドライバーの方が空き時間に花壇の手入れを率先して行い環境美化に貢献していた。</p>
立川小学校	<p>各教室にゴミ箱が2個ずつ設置してあり、子どもも分かりやすいように分別の内容が書かれた貼り紙がしてあった（墨汁やクレ</p>

	<p>ヨンを使った後の紙はリサイクルできないなど)。 立川という地域の特性を生かした環境への取り組みや、地域住民との協働の取り組みが行われている。</p>
天神小学校	<p>エコオフィス推進員の教頭が全く資料を見ず回答しており、学校における環境への取り組み状況を十分に把握しておる状況がうかがえた。 また、校長が環境活動に積極的に取り組んでおり、環境活動への参加も理解度も高い。学校トップ層の意識が高いことから、学校全体として環境意識の向上が図られている。</p>
五十崎中学校	<p>教員だけでなく、アルミ缶回収等生徒が主体となって動いている項目が多い。 学校独自の目標に関しては、生徒が自立して取り組むことができるような仕組みが確立されている。 また、蛍光灯が多いという施設の特性から蛍光灯をLED化することで大幅な電気使用量の削減が見込める。LED化に関しては教育委員会へ要請中。 紙類の削減の為、マチコミを活用してプリントの配布を減らすことを検討中。 輸送にかかる燃料削減の為、地産地消を心掛けている。町外の業者から内子町内の業者へ発注をしている。 数値的な目標については具体的な目標の設定が学校側にゆだねられている。具体的な数値目標の提示や、前年度や近隣学校との比較ができるとよりモチベーションや積極的な取り組み・周知につながるのではないかという意見があった。 総じて先生事務員共に、前向きな意見が多く見られた。</p>
小田中学校	<p>地域の組合や住民と良い関係性を築き、地域と共同して活動を進めており、小規模な学校だからこそその魅力的な活動が見られた。 また、封筒・裏紙の再利用やエアコンの温度管理など、小さな工夫を継続して積み重ねている。 今までの目標を達成しつつ、更により良くするため創意工夫をする前向きな姿勢が見られた。</p>
内子学校給食センター	<p>地産地消の目標達成は難しいが、内子豚や内子産の卵を使うなど、献立を工夫している。栄養士による様々な食育の提案が頼もしい。 調理で出た生ごみの堆肥化が行われていることは素晴らしい。さらに、その堆肥化を地元でもっと利用していただけるよう働きかけがあるといい。 一方で、調理員などの現場のデジタル化が難しく、紙の削減が進められていないことに課題感をもたれている。</p>

<p>小田学校給食センター</p>	<p>地産地消の為、給食の食材において町内産野菜の使用率 66.7% となっている。目標には一步及ばない状況だが、小学校で育てたさつまいもを給食に活用するといった取り組みが見られた。</p> <p>また、日常的な事務所の節電など細やかな取り組みも継続されている。</p>
<p>八日市・護国町並保存センター</p>	<p>地域の方や保存会の方と連携して、環境に配慮した取り組みが行われている。</p> <p>持続可能な形で文化財の保護、活用が行われている。</p>
<p>参川福祉館</p>	<p>目標達成に対して、真摯に取り組んでいる。特に生け花教室、料理教室後の堆肥化に力を入れて取り組んでいる。</p> <p>またR8年度改修によるLED化で電気使用量の削減が見込める。</p>
<p>事務局</p>	<p>メンバーが大幅に変わったり、不足した中でも新しい視点での取り組みや改善が多く見られた点は素晴らしい。学校現場や企業向けの学習会も積極的に取り組まれており、今後がとても楽しみである。</p> <p>監査の方法に関しても”良いところさがし”が少しずつ定着してきて他の部署の良いところをとりいれてもらう仕組みも定着しつつあると感じている。</p> <p>ただここ数年、それぞれの部署の独自目標の設定がマンネリ化しており、目標値設定時の指導も含めて次年度は改善を図れるよう工夫をお願いしたい。また、監査質問内容に関しても改善の余地が感じられた。</p>

[参考] 対象部署一覧

NO.	区 分	部 署 名 等
1	推進本部	町長
		副町長
		教育長
2	実行部門	総務課
3		会計課
4		保健センター
5		内子総合窓口センター
6		立川小学校
7		天神小学校
8		五十崎中学校
9		小田中学校
10		内子学校給食センター
11		小田学校給食センター
12		八日市・護国町並保存センター
13		参川福祉館
14	事務局	環境政策室